観光庁「地域観光資源の多言語解説整備促進事業」

国土交通省 観光庁

事業のポイント

日本語解説文の直訳では、文化的背景や関心の違い、言語表現の特性から、読みやすい表現にならない場合がある。
⇒観光資源の価値・地域の魅力が伝わらない…



本事業では、観光庁が派遣するネイティブ人材が、魅力的で読みやすい文章になるよう、取材・執筆・編集を実施。
⇒観光資源の価値・地域の魅力が伝わる解説文を整備！



よくある質問

○何ができる事業？
⇒観光資源や施設等の多言語解説文（文章）を執筆する事業です。翻訳ではありません。

○自動翻訳やAIと何が違う？
⇒ネイティブ人材が現地を取材し、外国人旅行者目線で「どの情報を・どのように伝えると、解説内容の魅力が伝わるか」という観点で、解説文を一から執筆します。

○費用負担の余裕が無い…
⇒費用負担は必要ありません。（全額国費事業です）

○人手が足りるか心配…
⇒地域側（現場）でご対応いただく必要があるのは、以下の内容です。

事業の流れ ※回数・時間は一例

1年目

- 2月頃 申請
- 4～5月頃 採択
- 事業説明会（1回・約1時間半～2時間）
- 8～9月頃
- 打ち合わせ（1回・約30分～1時間）
- 現地取材（約1日～3日間）
- 執筆
- 編集
- 10～11月頃 執筆内容の地域確認
- スタイルチェック
- 校正
- 12月頃 納品（データ形式）

2年目以降

- ※本事業の対象外 情報発信媒体の整備・掲載

地域側（現場）で対応が必要なこと

①申請書を記載・提出

- 地域として多言語解説により外国人旅行者により魅力を伝えていきたい観光資源や施設、解説文の活用先等について、申請時点での想定を記載。

②打ち合わせ・取材対応

- ネイティブ人材による現地取材と、その事前に行われる**説明会・打ち合わせに参加。**
- 現地取材では、多言語で解説したい地域資源や施設等の**訪問を調整し、案内。**

③解説文の内容確認

- ネイティブ人材が執筆した解説文の内容について、地域側の立場から、内容の誤りや、避けたい表現が無いかを確認。

④作成した解説文を地域内で活用

- 解説文は、看板・パンフレット・WEBサイト・音声ガイド等、様々な媒体で活用可能。
- 例： WEBサイトにリンクする2次元コードを看板等に貼付。（右画像）



◎地域の魅力やストーリーの整理、インバウンドの受入環境整備に、是非ご活用ください！

お問合せ先： 観光庁 観光資源課
（TEL:03-5253-8925）

参考： 地域側（現場）で対応が必要なこと

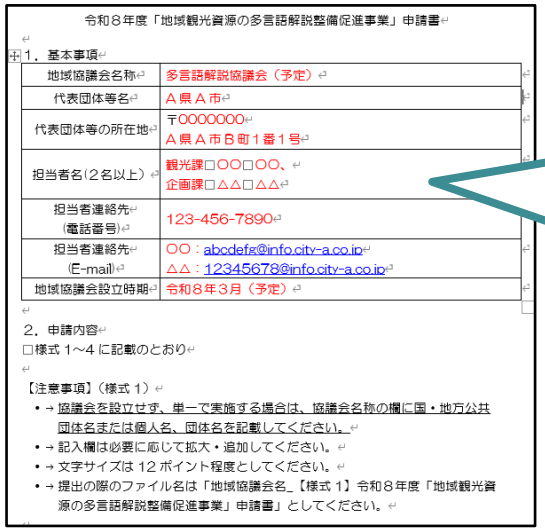
※地域観光資源の多言語解説整備促進事業

国土交通省 観光庁

①申請書を記載・提出

観光資源や施設、解説文の活用先等について、申請時点での想定を記載します。

【様式1】



令和８年度「地域観光資源の多言語解説整備促進事業」申請書

1．基本事項

地域協議会名称	多言語解説協議会（予定）
代表団体等名	Ａ県Ａ市
代表団体等の所在地	〒0000000 Ａ県Ａ市Ｂ町１番１号
担当者名（２名以上）	観光課□○○□○○、 企画課□△△□△△
担当者連絡先（電話番号）	123-456-7890
担当者連絡先（E-mail）	○○：abcdefg@info.city-a.co.jp △△：12345678@info.city-a.co.jp
地域協議会設立時期	令和８年３月（予定）

2．申請内容

□様式 1～4 に記載のとおり

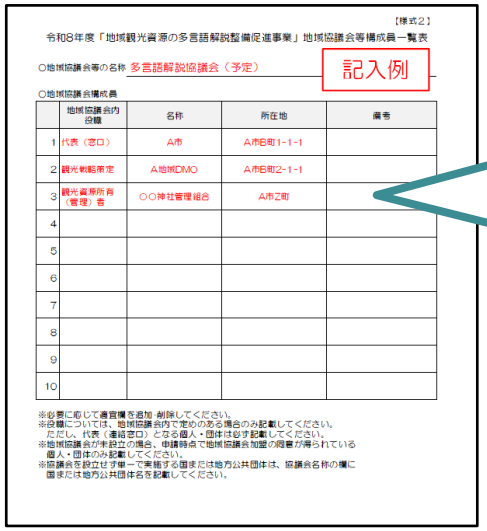
【注意事項】（様式 1）

- → 協議会を設立せず、単一で実施する場合は、協議会名称の欄に国・地方公共団体名または個人名、団体名を記載してください。
- → 記入欄は必要に応じて拡大・追加してください。
- → 文字サイズは 12 ポイント程度としてください。
- → 提出の際のファイル名は「地域協議会名_【様式 1】令和８年度「地域観光資源の多言語解説整備促進事業」申請書」としてください。

- 地域側(現地)の連絡先
- 打ち合せ等の実施スケジュール希望
- 過年度参加状況

等を記載します。

【様式2】



【様式2】

令和8年度「地域観光資源の多言語解説整備促進事業」地域協議会等構成員一覧表

○地域協議会等の名称 多言語解説協議会（予定） 記入例

○地域協議会構成員

	地域協議会内役職	名称	所在地	備考
1	代表（窓口）	A市	A市B町1-1-1	
2	観光戦略策定	A地域DMO	A市B町2-1-1	
3	観光資源所有（管理）者	○○神社管理組合	A市Z町	
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※必要に応じて適宜欄を追加・削除してください。
※役職については、地域協議会内で定めのある場合のみ記載してください。
ただし、代表（連絡窓口）となる個人・団体は必ず記載してください。
※地域協議会が未設立の場合、申請時点で地域協議会加盟の意向が得られている個人・団体のみ記載してください。
※協議会を設立せず単一で実施する場合または地方公共団体は、協議会名称の欄に国または地方公共団体名を記載してください。

（協議会の場合、記載）

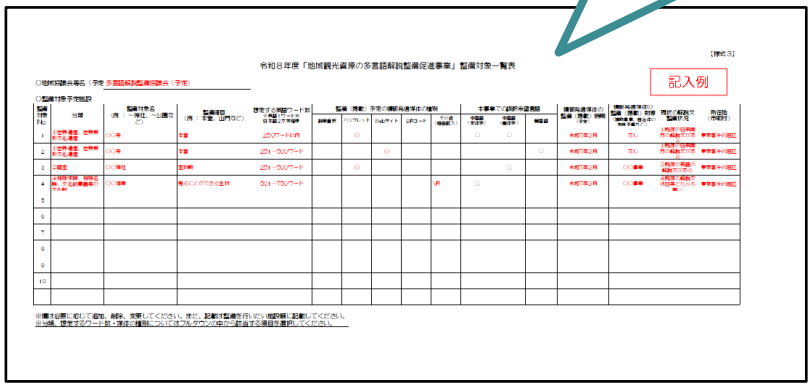
- 協議会の構成員
- 各構成員の連絡先

等を記載します。

- 多言語化したい観光資源・施設
- 解説文の活用先
- 作成希望言語

等を記載します。

【様式3】



【様式3】

令和８年度「地域観光資源の多言語解説整備促進事業」整備対象一覧表

○地域協議会等名（予定 多言語解説協議会（予定）） 記入例

○整備対象予定施設

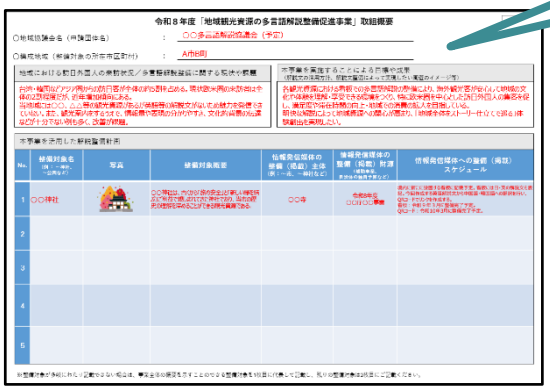
整備No.	分類	名称（同一地区・近傍で複数ある場合）	整備内容（概要・記載内容）	想定する解説ワード数（日本語ワード数を記載）上限を記載	整備（新規）予定の解説言語の種類					多言語での解説作成箇所				情報発信媒体の整備（新規）対象（複数選択可）	現状と解説文整備内容
					英語表示	ハングル	中国語（簡体字）	中国語（繁体字）	その他（指定）	音声（多言語）	音声（英語）	音声（日本語）	解説板		
1	世界遺産 自然遺産 文化遺産	○○寺	寺院	250ワード以内		○				○		○		令和7年2月	現地での解説作成箇所：音声多言語化
2	世界遺産 自然遺産 文化遺産	○○寺	寺院	251～500ワード		○				○		○		令和7年2月	現地での解説作成箇所：音声多言語化
3	公園庭	○○神社	自然	251～500ワード		○				○				令和7年2月	○×事業	現地での解説作成箇所：音声多言語化
4	博物館・美術館・歴史的建造物・文化財建造物	○○施設	電子ガイドができる施設	501～750ワード					○	○				令和7年2月	○×事業	現地での解説作成箇所：音声多言語化
5																
6																
7																
8																
9																
10																

※欄は必要に応じて追加、削除、変更してください。また、記載は整備を行いたい施設順に記載してください。
※分類、想定するワード数・言語の種類については、プルダウンの中から該当する項目を選択してください。

- 【様式3】と同様の内容
- 外国人の来訪状況
- 多言語解説整備に関する現状や課題

等を記載します。

【様式4】



令和８年度「地域観光資源の多言語解説整備促進事業」取組概要

○地域協議会名（仲間団体名） ： ○○多言語解説協議会（予定）

○構成地域（解説対象の所在市町村） ： A市B町

地域における訪日外国人の来訪状況／多言語解説整備に関する現状や課題（現状のみ記載でも、将来の整備のイメージでも）

外国人観光客（アジア圏からの訪日客）が多く訪れるため、現状数年間の来訪傾向を踏まえ、現状の文化財解説が、日本語10語程度しかない。現状数年間の来訪傾向を踏まえ、特に欧米圏を中心とした訪日外国人の増加を見込んでいない。また、観光案内がまるでなく、情報量の不足の分かりやすい、文化的背景の知識が乏しい。

外国人観光客（アジア圏からの訪日客）が多く訪れるため、現状数年間の来訪傾向を踏まえ、特に欧米圏を中心とした訪日外国人の増加を見込んでいない。また、観光案内がまるでなく、情報量の不足の分かりやすい、文化的背景の知識が乏しい。

多言語化を実現することによる市場の変革（現状のみ記載でも、将来の整備のイメージでも）

外国人観光客（アジア圏からの訪日客）の多言語解説の整備により、海外観光客が安心して地域の文化や自然を楽しめる環境が整うことで、特に欧米圏を中心とした訪日外国人の増加を促進。滞在日数や消費額の増加も期待している。

解説整備により、地域観光資源への関心が高まり、地域全体のストーリー仕立てを図る事業展開も実現したい。

多言語を活用した解説整備計画

No.	整備対象名（施設・場所、一地区など）	写真	整備対象概要	情報発信媒体の整備（追加）主体（既・一地、一時行など）	情報発信媒体の整備（新規）対象（複数選択可）	情報発信媒体への整備（再掲）スケジュール
1	○○神社		○○寺は、約1200年の歴史と深い神秘性と共に有名な寺院であり、近代に入り神仏分離令により廃寺となるも、現在は観光地として多くの観光客が訪れる。	○○寺	自動解説 ○○ガイド事業	現状、新しい整備を検討、整備予定、整備しない等の整備方針を記載（整備予定の場合は整備時期を記載） 例1）すべて令和8年度 例2）令和8年度に整備予定 例3）令和8年度に整備予定
2						
3						
4						
5						

※整備対象が多岐にわたり記載できない場合は、事業全体の概要を示すことのできる整備対象を代表的に記載し、残りの整備対象は別紙にご記載ください。

- 【様式3】と同様の内容
- 外国人の来訪状況
- 多言語解説整備に関する現状や課題

等を記載します。

➡ Excel/word/PowerPoint形式で書類を作成し、アップロードして提出完了

申請や書類の記載内容についてのご不明点・ご相談は、観光庁 観光資源課 （TEL： 03-5253-8925）まで、お気軽にご連絡ください。

参考：　地域側（現場）で対応が必要なこと

※地域観光資源の多言語解説整備促進事業

国土交通省 観光庁

②打ち合わせ・取材対応

ネイティブ人材との事前打ち合わせ（オンライン）と現地取材にご対応いただきます。

打ち合わせ
（1回・約30分～1時間）
⇒ネイティブ人材が日程調整、進行等を行いますので、ご対応いただきます。
※オンラインの場合が多いです。



現地取材
（約1日～3日間）
⇒多言語化する観光資源・施設をネイティブ人材が見学・取材できるようご調整いただき、当日ご案内いただきます。





③解説文の内容確認

地域の立場から、解説文の内容や避けたい表現がないか等を確認していただきます。

ネイティブ人材が作成した解説文の記載内容確認
⇒ネイティブ人材が解説文を執筆・編集し、地域側（現場）にお送りいたします。記載内容の事実確認、記載を避けたい内容や表現が含まれていないか等をご確認いただきます。
※なお、内容確認は「英語」での確認をお願いしております。ご対応が難しい場合はご相談ください。



ファクトチェックシート

事業名：令和8年度地域観光資源の多言語解説整備促進事業　　使用例：【青色網掛け】地域記入後ー制作会社確認【緑色網掛け】制作会社記入後ー地域確認

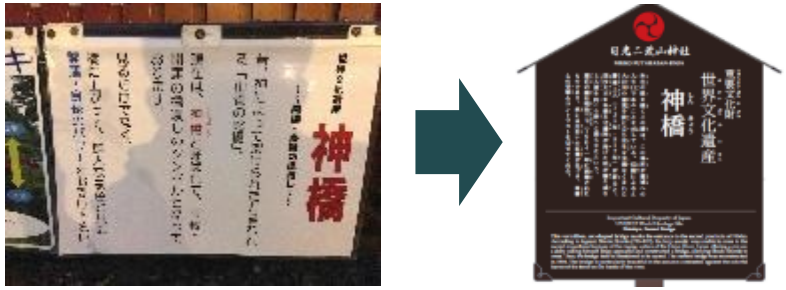
解説文確認開始日		解説文確認完了日	
協議会NO		確認対応者	
協議会名		担当制作会社ディレクター	

地域協議会 記入欄（必要に応じてセルを増やしてください）　　● 制作会社 記入欄

	該当箇所	該当英文	該当和文	修正・削除の理由	内容・代替案	ソース元	記入者	反映状況（制作会社 記入欄）
例	2行目	the first Japanese settlers came to the islands in 1875	日本人最初の定住者たちが島にやってきたのは1875年。	日本からの最初の開拓団が小笠原諸島に渡ったのは1876年になります。	1875年⇒1876年に変更	すしの雑記_第17集_20180226発行	●●寺　日本 花子	※制作会社にて記入しますので、ここにはご記入なさらないでください

④作成した解説文を地域内で活用

看板・パンフレット・WEBサイト・音声ガイド等、様々な媒体で活用いただけます。



日光二荒山神社神橋　看板の改善



タッチパネル式解説板による案内（多言語字幕）



2次元コード（多言語音声・テキスト）